

事業名：クリスマス・プレイベント「光のつどい」開催事業

団体名：和田山地区地域自治協議会

1 事業内容

日時 令和6年12月7日(土) 午後4時30分～同6時

場所 朝来市防災センター 駐車場

内容 朝来市防災センターの敷地内に9基のペットボトルツリーを設置し、加えてイルミネーションによるメッセージの制作や建物や木々への飾り付けを行った。ペットボトルツリーには、事前に当和田山地区地域自治協議会で行っている児童の体験活動プログラムの「和田山えがおチャレンジ」の一環で、ペットボトルツリーに絵や模様などを参加児童らが描いた。

イベント当日は、「イルミネーション点灯式」や屋外で大鍋、ヤキイモ、綿菓子、ポップコーンを無料で提供するバザー、加えて子供、障害者児、大人のグループによるダンス、オペラ歌謡及びトーンチャイムの演奏などのパフォーマンスによるイベント「光りのつどい」を実施した。

当日は、12月初頭の寒い夜となったが、和田山自治協やその構成団体、地元有志による係員約70名の方々にお世話いただき、約400名の親子連れを中心とした地区住民が集い、賑やかに開催できた。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
R6 6/10	・イベントの企画、計画づくり	朝来市防災センター 会議室	係員:9名
9/20	・イベントの詳細な打ち合わせ	同 上	係員:14名
11/22	・イベントの詳細な打ち合わせ	同 上	係員:19名
11/30	・ペットボトルツリーの絵、模様付け	同 上	参加者(児童 他):34名
12/2	・イルミネーション(一部:メッセージ)の設置	朝来市防災センター 玄関付近	係員:16名
12/7	・イルミネーション、ペットボトルツリーの設置 ・「光のつどい」の準備、開催	朝来市防災センター 駐車場	係員:約70名 参加者: 約400名
R7 1/7	・イルミネーション全体の片付け・反省会	同 上	係員:15名

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

和田山自治協の年間行事の中で最大のイベントとなり、お互い協力し合うことで仲間意識が強まり、地域を活性化していこうという気運が高まった。

特に、児童らによるペットボトルツリーの絵、模様付けに始まり、若者、中高年によるツリーやイルミネーションの設置、イベントの準備、運営などにおいて約100名の多世代が協働及び交流する機会となった。

またパフォーマンスの出演者が約70名、加えて約400名の参加者など多くの方々が集まっていたいただき、「やって良かった」という意見が多く聞かれ、このイベント実施や地域に対する誇りが生まれた。

(2) 地域への波及

イベントの少ない時期での開催により、暗く、寒い但馬の冬のイメージを払拭でき、地域の活性化、多世代交流の機会ができた。

特に、参加者の多くが親子連れであり、児童や家族にとって冬の楽しみ、思い出作りの一助になった。

3 協働の相手方

和田山地区の主だった団体により構成されている当団体であるが、それぞれの役割を果たしていただいた。特に朝来市立枚田小学校やそのPTA、子供会、また児童体験プログラム「わだやまえがおチャレンジ」のサポーターの方々にあつては、事前PRや当日の運営に協力がいただけて、イベント内容がスムーズに展開できた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

地域の団体のつながりを深め、より多くの住民が集まれるような内容を検討することが重要であり、できれば、市内在住の外国人などにも参加してもらえるような取組みも検討して、当地区のダイバーシティ化の促進の一端も担える役割を果たしていきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

このイベントを通じて、地域の輪がより拡大していくような中身の充実、検討が必要であり、地元企業や事業所等への協力を呼び掛けていく。



6年11月30日 ペットボトルツリー模様付け



6年12月2日 メッセージの制作



6年12月7日 「光のつどい」開催



6年12月7日 「光のつどい」点灯式